

●コロナで世界の観光にダメージ

国連世界観光機関 (UNWTO) によると、新型コロナウイルスの世界規模の感染拡大で世界の観光地の65% (141地点) が国境を完全に閉鎖しました。国外の観光客が訪問できない観光地は、アフリカで85%、南北アメリカでは76%、アジア太平洋地域は67%、中東は92%にもなっています (2020年6月15日時点) [1]。

●人目が減って違法行為が容易に

ボツワナのオカバンゴデルタでは、観光客の減少で人目が減ったため密猟者が活動しやすくなり、3月に少なくとも6頭のクロサイが密猟されました。そのため当局は密猟者が行動しやすい満月の前までに、サイを安全な場所に移動することにしました [2]。

一方、密売人は貿易の再開に備えて野生生物製品を備蓄していることがNGOの調査で明らかになりました。それによると東南アジアの国々でセンザンコウのうろこが、モザンビークではサイの角が備蓄されているそうです [3]。

コロンビアでは2頭のジャガー、オセロット、ピューマが殺されました。レンジャーが家に留まることを余儀なくされている間に、意図的な山火事と違法な農地の拡大が起きていることが心配されています [4]。

●保全の資金源の喪失

またエコツーリズムが崩壊したため、観光収入を断たれた地域住民が密猟をしたり、レンジャーの給料が払えなくなって監視事業が一時停止したりする事態になっています。

カンボジアでは観光業が停止した4月初め、絶滅危惧種のおニトキ3羽が食用に密猟されました [5]。

大型類人猿を観察するエコツーリズムは、人から類人猿へのウイルス感染のおそれから、コロナ危機の比較的早期段階で閉鎖されました。そして観光収入に頼っていたスタッフの給料だけでなく、法執行機関や生物調査の資金も調達できなくなっています。

エコツーリズムの再開が難しい状況で、オランウータン、ゴリラ、チンパンジーを主人公とした教育的モバイルゲーム「Wildeverse」が自然保護団体や研究機関の協力により開発されました [6]。

●住民主体の自然保護の危機

ケニアのマサイマラ国立保護区では、春の大雨でマラ川が氾濫してエコツーリズムの宿泊施設の被災に加え、コロナウイルスによる観光業の停止で、経済状態が悪化しています [7]。

さらにケニアはサバクトビバッタによる農作物被害と、マサイマラ周辺の保護地域での家畜の病気の蔓延も重なりました。そのため住民による食用肉採取を目的とした密猟や、農作物を獣害から守るための野生動物との軋轢が激化し、これまでに築き上げてきた地域住民主体の保全活動が危機的になっています [4]。

観光資源として野生生物に経済的価値を見出し、保全と地域住民の生計を両立させる事業は、新型コロナウイルスの世界的流行で突然行き詰ってしまいました。露呈した問題の克服が模索されています。



Photo: Sergei Kazakov//Shutterstock.com

[1] UNWTO 2020.6.23 "Restrictions on travel easing as Europe leads cautious restart of tourism"
 [2] ナショナルジオグラフィック 2020.5.1 "Botswana is evacuating black rhinos amid poaching threat"
 [3] Wildlife Justice Commission 2020.4 "Rapid assessment of the impact of COVID-19 on wildlife trafficking"
 [4] The Guardian 2020.5.5 "Conservation in crisis: ecotourism collapse threatens communities and wildlife"
 [5] WCS 2020.4.15 "COVID-19 FUELING AN UPTICK IN POACHING: Three Critically Endangered Giant Ibis – Cambodia's National Bird – Killed in Protected Area"
 [6] UNEP 2020.5.29 "What COVID-19 means for ecotourism"
 モバイルゲーム「Wildeverse」
 (Android) <https://play.google.com/store/apps/details?id=com.internetofelephants.wildeverse>
 (Apple) <https://apps.apple.com/us/app/wildeverse-a-wildlife-ar-game/id1450627050>
 [7] ROBERTA STALEY 2020.6.26, "2020 Tourism collapse in Kenya raises fears of poaching uptick"